UCHIYAMA GROUP［社内報］ 2020
ウチヤマタイムズ
1 No.215
UCHIYAMA HOLDINGS ウチヤマホールディングスグループ
東証一部上場（証券コード:6059）
(株)ウチヤマホールディングス 〒802-0044 福岡県北九州市小倉北区熊本2丁目10-10 電話:093-551-0002
発行日:令和元年12月20日 編集:岡田直紀・八尋有紀・小橋佳緒里 監修:内山文治・吉岡信之

新年 あけましておめでとうございます

さわやか倶楽部 第五回 事例発表大会

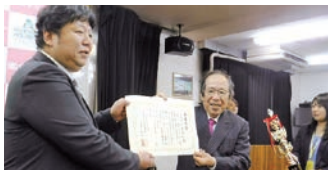
★最優秀賞は「さわやかあおい館」！

十一月十五日、さわやか倶楽部で第五回目となる事例発表大会が今年も本社の大会議室で行われました。各エリアから選抜された一〇施設の代表者により、それぞれのテーマに沿って現場で行われた入居者様・利用者様の生きがいづくりの取り組みやその成果について発表が行われました。審査員には、船井総合研究所の三浦先生や読売新聞の時枝編集委員をはじめ、今年も外部から九名の方をお招きして、各施設の実践内容やプレゼンテーションについて評価していただいた結果、今年は静岡市の「さわやかあおい館」が見事に第一位に輝きました。表彰式の終了後には、出場者と審査員の方々を交えて、懇親会が行われました。

二ページに、上位入賞施設をご紹介しています。

《出場施設と発表者》

1. さわやか桜弐番館（秋田県秋田市） ― 池端計画作成担当者
2. さわやかグループホームなすしおばら（栃木県那須塩原市） ― 大野介護職員
3. 最優秀賞 さわやかあおい館（静岡県静岡市） ― 梶原施設長
4. さわやかリバーサイド西脇（兵庫県西脇市） ― 依藤介護リーダー
5. 優秀賞 グループホームみどりのき（福岡県北九州市） ― 岡崎管理者
6. さわやか鳴水館（福岡県北九州市） ― 櫻木施設長
7. 優秀賞 さわやか海響館（福岡県北九州市） ― 斎藤介護主任
8. さわやかさかのいち館（大分県大分市） ― 團塚介護職員
9. さわやか愛の家にいはま館（愛媛県新居浜市） ― 佐伯センター長
10. さわやかひびきのもり（福岡県北九州市） ― 富田介護リーダー



インドネシアから インターンシップ生 九名を受け入れ

十一月二十日、インドネシアのイマニュエル看護大学から九名のインターンシップ生が来日しました。

北九州市内にあるさわやか倶楽部の三施設、さわやかレークサイド中の原（ポーベさん、ククさん、ディナさん）、さわやか鳴水館（ヘレンさん、ランギさん、タンティさん）、さわやか花美館（ペンティさん、ヘスティさん、アンディニさん）にそれぞれ配属され、大学のプログラムの一貫としてこれから七か月の実習を行います。

来日前には、さわやか倶楽部がインドネシアに設立した現地法人（PT.Sawayaka Fujindo Indonesia）が運営する職業訓練校で、三か月間日本語を勉強してきました。この学校で指導した学生をさわやか倶楽部の施設で受け入れるのは、今回が初めてとなります。

これから七か月間、日本でしか学べないこと、さわやか倶楽部でしか学べないことをたくさん吸収して、将来の仕事につなげてもらえたらと思います。

（さわやか倶楽部 本社営業部・金森 彩）

↑12月度の職員誕生日会&新入職員歓迎会に参加し、日本語の歌とインドネシアの踊りを披露してくれました。

↑来日後すぐに本社へあいさつに来てくれました。

《第5回》事例発表大会 上位入賞施設紹介

最優秀賞 さわやかあおい館
(静岡県静岡市)

テーマ あきらめた夢を叶えよう～夢の実現～

対象者 E様 87歳女性／要介護3

いつもあきらめ口調の多いE様に活気のある生活を送っていただくため、「ライフマップ」を活用してこれまでの人生に寄り添いました。日々の生活の寂しさを和らげるために、旅行や登山が趣味だったことから、E様が大好きな「富士山」へ行ってみよう、という目標を立てて職員がサポートし、5合目まで実際に行ってきました。この取り組みによって、E様のADLや施設での生活に変化はありませんが、楽しい体験を職員と共有できたことによって思い出話のたびに笑顔が見られるようになり、「次はどこに行こう??」との合言葉も生まれました。

梶原施設長より

最優秀賞に選んでいただき、ありがとうございます。今回の取組後の変化として、イベントなどを企画する際に職員が利用者様の満足度を意識するようになってきました。例えば、外食レクでは細かく希望を聴取したり、外出レクでも行き先を数か所上げるなど、その方その方にできるだけ合わせようと工夫する様子が見られるようになりました。また、施設外へ出ることの重要性や必要性にも気づきが生まれ、外出の機会を増やすように職員全員で取り組んでいます。

優秀賞 さわやか海響館
(福岡県北九州市)

テーマ 施設が我が家に変わるまで
～My sweet home～

長谷川施設長より

事例発表会を終え、自施設にてまず事例の対象となっていただいた入居者様に報告を行いました。入居者様は何のことか詳しくは分からないご様子でしたが、賞状をいただいたことに大変喜ばれていました。その後、施設の活力朝礼にて入居者様と職員に報告し、全体での記念撮影を行いました。今回の取り組みを始める前、職員は何故このようなことをしないといけないのか?という様子でしたが、このように評価をしていただいたことに喜び、次年度は「この事例はどうですか?」と言ってくれるようになり、施設自体が前向きな雰囲気に変化したことが感じられます。また、11月のディナーミーティングでは、職員皆で祝勝会と反省会を行い、日頃の労をねぎらうとともに入居者様の情報交換等活発に行うことができました。

優秀賞 グループホームみどりのき
(福岡県北九州市)

テーマ めかりの戦い 5年ぶりの笑顔

藤原ホーム長より

認知症ケアに正解はありませんが、優秀賞をいただき、なかなか答えのない認知症のケアを認めていただけたのではないかとスタッフ全員で大変喜んでいます。そしてスタッフ全員の大きな自信になりました。後見人様にお伝えしたところ、皆様のおかげさまです。というお言葉も頂きました。今後も理念の統一を実践し、今回取り組んだことを今後のケアに取り入れ、これからも入居者様ひとりひとりに向き合って安心して暮らせるように支援していこうと思います。

《運営指導部》原野副部長より

今年も全国の予選で選ばれた素晴らしい取り組みが発表されました。毎年参加されている外部の審査員の方からは、実践内容や発表の仕方など年々レベルが上がっているというお言葉もいただきました。ただ、どんなに素晴らしい取り組みを行っていても、世間に伝える為の行動を起さなければ、何も伝わりません。大切なことは、情報発信を意識的に継続しながら、必要に応じて柔軟に変化していくことです。チームで取り組む過程から何かに気づき、考える介護を実践できるハイクオリティなプロ集団を目指すため、そして、福祉業界全体を盛り上げ活気づけていくことで雇用促進につなげるため、今後も定期的に各エリアまたは施設単独で事例発表を企画し、地域イベントの一環として取り組んでいきましょう。

外部審査員(順不同)

船井総合研究所 上席コンサルタント・三浦 康志 様
読売新聞西部本社 編集委員・時枝 正信 様
東筑紫短期大学 特任教授・木本 節子 様
直方病院 看護師長・梅林 智子 様
合同会社モンターニア 管理者・白石 広子 様
有限会社ウィンドミル 顧問・谷之口 紘一 様
済生会くれたけ荘 課長・杉田 佳史 様
社会福祉法人 青雲会ケアマネージャー・宮崎 俊輔 様
社会福祉法人 青雲会ケアマネージャー・守田 敬 様

合格おめでとう!
介護支援専門員(ケアマネジャー)

さわやか桜館
小松 健太さん

さわやか
パークサイド新川
和田 幸枝さん

ベスト日報賞

ウチヤマグループで働く皆さんの日報をご紹介します！

横山 ユカリさん

コロッケ倶楽部 三田川店　佐賀県神埼郡

今朝はいつもより寒さを感じておりました。バースデーのゴールド会員様が来店され、「お水をピッチャーで下さい」と言われましたが、私の気持ちでポットに温かいお茶を入れてお出ししたところ、とても喜んでいただきました。「何年も来てるけど、こんなサービスは初めてよ」とおっしゃっていただきましたので、「今日は寒いですし、お誕生日も兼ねて特別です」とお答えしました。本当に喜んでいただき、こちらも笑顔があふれました。

榮（さかえ） 香菜子 センター長

さわやか愛の家しものせき館　山口県下関市

さわやか大積館からお借りしていた車を返却に行く予定があったため、お礼に児童と一緒に作ったクリスマスツリーとお礼状を、児童から施設の職員さんへ直接手渡してもらいました。児童たちにとっても初めてのことで戸惑う姿も見られましたが、どんなことをしているところか、誰がいるのか等、興味を持ってくれ、往復の車の中でもその話題で盛り上がりました。これを良い機会として、同じ会社の施設として、今後も交流を深めていきたいです。

産んでくれて育ててくれてありがとう

佐藤 実果さん

さわやかむなかたのもり　福岡県宗像市

私が小さいころ、事情があって両親は離婚しました。それから、母は女手一つで、二人の兄と私を育ててくれました。

母は看護師という仕事がら、夜勤や休日の出勤もあり、母が仕事で不在になる時はいつも、私たち三人分の食事を用意してくれていました。私は二人の兄がいたのであまり寂しいと感じたことはなかったのですが、母はきっと辛い思いをしながら仕事に向かったと思います。母は仕事熱心で勉強好きで、看護師資格以外にもたくさんの資格を取り、今は、看護部長として頑張っています。

高校時代に、ボランティア活動で高齢者の方々とふれあう機会があったことと、母の勧めもあって、介護の仕事につくことにしました。高校3年生の時にむなかたのもりで実習をして、卒業と同時にさわやか倶楽部の一員として働くことになりました。新人研修の時、母は私が一人で行けるようにと、福間町の自宅から本社までの道順を、バスと電車を使って事前に一緒に確認してくれました。

入社して4年目、介護の仕事はまだまだ難しく、覚えることがたくさんありますが、周りの職員の方たちの協力、指導と、利用者様の笑顔を励みに頑張っています。入社した時から「挨拶と笑顔がいいね」と皆さんに言っていただいています。「人の悪口は言わない、いつも笑顔で」というのが母の教えです。そんな母を尊敬し、誇りに思います。これからも、母の教えを大切にしながら、毎日を過ごしていきます。

お母さん、これからもいろいろ迷惑をかけると思いますが、温かく見守っていてください。これからもっと親孝行できるように頑張っていきます。お母さんの子どもで良かったです。お母さん、産んでくれて、育ててくれてありがとう。

おたよりのご紹介

コロッケ倶楽部 加古川店

初めて来店した時に、すぎもとさんはじめ素敵な笑顔の人ばかりで、すごく好印象でした。私たちグループを接客してくれるお昼のメンバーのスタッフ皆さん、良い感じの人ばかりで、いつも気持ちよく過ごさせてもらっています。

（兵庫県加古川市・小池様より）

コロッケ倶楽部 新下関店

こやさんはとっても笑顔が素敵で、優しく接客していただきました。とても素晴らしい従業員です。とても安い料金で楽しいひと時を過ごしました。また足を運び楽しみたいと思います。

（山口県下関市・竹中様より）

コロッケ倶楽部 小倉東インター店

ささきさんが、無理なお願いを笑顔で聞き入れてくれたことに感謝です。母が誕生日だったのですが、急なお願いでバースデーケーキを準備していただいて、本人も感動するくらい最高のバースデーを迎えられました。ささきさんがいたから、最高の瞬間を味わえました。ささきさんバンザイ。

（福岡県北九州市・和田様より）

さわやか本城館

本人の血圧が高く頭痛で不安な時、スタッフの方々はきめ細かく対応してくれました。本当にありがとうございました。家族も大変喜んでいます。

（福岡県北九州市・曳村様より）

さわやかだより

日々更新される施設のブログから一部をご紹介します。

さわやかさかのいち館　大分県大分市

別府へ外出レク！

11月27日に別府へ外出レクに行ってきました。「さわやかハートピア明礬」へ美味しい食事を食べに行きました。

天気が良かったので、行く前に春日神社に参拝しました。神社には、七五三のお参りの家族が参拝に来ていました。その様子を見て、『千歳飴が私もほしいなぁ』という言葉が聞かれました。食事もおいしく頂いて大満足の一日でした。

(岡野 登美世)

さわやかくきのうみ保育園　福岡県北九州市

夕方のお散歩！

くきのうみ保育園では夕方16時30分過ぎからお散歩に出かけています。施設の中や玄関先までのちょっとした距離ですが子どもたちはこの時間が大好きです。今日はそんな夕方の様子をお届けしようと思います。施設の目の前が海なので夕日がとっても綺麗なんです。子どもたちも「お空がオレンジだよ!」「眩しいねぇ～!」と大喜びです。

子どもたちのお気に入りの場所がもう一つ。それは…地域交流ホールです。リハビリの先生や看護師さんがいつも一緒に遊んでくれます。この日は『パプリカ』を一緒に踊ってくれました。「ぱぷりぃか～」と歌いながらノリノリで踊っています。安田先生、渡邊さんこれからもよろしくお願いします。(馬屋原 香里)

さわやか愛の家さいだいじ館　岡山県岡山市

消防署見学に行こう！

消防署に見学に行きました。活動の話をしている時から子どもたちはワクワク。消防署に着いてからは、消防士さんの話を静かに聞き興味津々な様子でした。聞きたいことがあると「これは何?」と自分たちで聞くこともできていました。レスキュー車が帰ってくると「かっこいいやつじゃ」と遠くで眺めていると大切な道具も見せてくれました。最後には「ありがとうございました」と全員で大きな声でお礼を言うこともできていました。

今後も、さいだいじ館の身近な施設に行き、様々な人と触れ合い色々な物に触れられる活動を考えていきたいと思っています。(小田 美古)

さわやか東神楽館（ひがしかぐら） 北海道上川郡

旭川空港見学！

今回は今年9月にリニューアルした旭川空港に2階の入居者様が見学に行かれました。施設から車で5分～10分ほどの所に旭川空港があります。まずは飛行機が着陸する様子を見に行きました。間近で見ると中々の迫力です。

昼食は、フードコートでラーメンを食べました。お腹もいっぱいになったところで、次はお買いものです。皆様、それぞれ欲しいものを買われて満足されたようです。（鈴木 拓人）

さわやかみなと館 新潟県新潟市

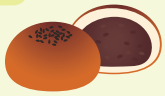
外出レク！

新潟市内にあるせんべい王国へ行って来ました。まずはばかうけ稲荷でお参りです。おせんべいが上手く焼けますように。

職人さんの手焼きの様子をじっくりと観察して、大きなばかうけを焼きました。かわいく包装して完成です。焼き立てを食べたりお土産を買ったり楽しく過ごせました。（丸山 夕紀）

さわやかながれやま館 千葉県流山市

外食レク！



石窯パン工房サフランさんへ行ってまいりました。自分で選べるってたのしい。『あっちにも、おいしそうなパンがあるわよ』パンを選んでいるところで、ハイチーズ。

『おいしいよ』、『おいしいわ』、『おいしかったね』パンの種類たくさんあって色々目移りしたけど…好みのパンを選んで食べるって2倍おいしい。今日もたくさんのおいしい笑顔でした。（藤島 真州美）

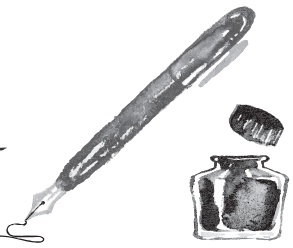
さわやか海響館（かいきょう） 福岡県北九州市

町内餅つき大会！

毎年ご招待ありがとうございます。今年も町内の餅つき大会に参加しました。活気がありますね。つき立てのお餅には酢餅が一番ですね。手づくりのおにぎりとお漬物も頂きました。海響館の餅つき大会にはこちらがお招きしますね。

雨予報でしたが、何とかお天気が持ちました。入居者の皆様も職員も十分楽しめました。海響館の餅つき大会は12/28です。お楽しみに！（秀島 知華子）

MESSAGE from PRESIDENT



人財の器となる企業

九名のインターンシップ生が来日

十一月二十日に九名のインターンシップ生がインドネシアから来日して、当社の介護施設「さわやか花美館」「さわやか鳴水館」「さわやかレークサイド中の原」の三カ所で七ヶ月間の現場実習を開始しています。

当社は、インドネシアの子会社（PT.SAWAYAKA FUJINDO INDONESIA）を通じて、今年の五月にインドネシアのイマニュエル看護大学と産学連携に関する協定書を締結しました。この協定は、看護大学の教育科目である高齢者看護の実習を日本にある当社の介護施設で行うことによって、インドネシアの大学の単位が取得できるという内容です。協定書締結と同時に日本でのインターンシップを希望する学生の面談を行い、九名の女性を選抜しました。彼女らは八月から当社が運営する職業訓練校「さわやかアカデミーインドネシア ジャカルタ校」で日本へ行くための事前教育を受けながら滞在の許可手続きを進め、十一月に晴れて来日することができました。来日してすぐ、空港から直接本社へ挨拶に来てくれましたが、非常に明るく笑顔がキラキラとした若者ばかりで、一緒にいるだけで周囲が元気になるようなエネルギーを感じました。

来日から約三週間、十二月十日には毎月恒例の職員誕生日会及び新入職員歓迎会があり、インターンシップ生は九名全員が参加してくれました。短期間の間にすっかり施設の先輩職員や入居者様に馴染んでおり、充実した現場実習になっている様子で安心しました。インターンシップ生は、イベントの中で日本語のカラオケを歌ったり、インドネシアの民族舞踊を披露してくれたりして、他の参加者と一緒に楽しんでくれました。七カ月の実習はまだ始まったばかりですが、皆さんの協力で大変良いスタートを切れました。このインターンシップを通じて、日本の介護技術や日本語でのコミュニケーション能力習得はもちろんのこと、彼女たちの人生が大きく好転するような実習となることを願っています。

また、インターンシップ生を受け入れる介護現場にも良い刺激があるようです。彼女たちとの関りを楽しみに、普段は居室にこもりがちな入居者様がレクリエーションに出てこられるようになったという話もあります。教える先輩職員にしても、彼女たちが日本語学校で正しい日本語の基礎を学んできているので、正しい文法の標準語でなければ伝わりにくいことから、自らの言葉遣いや教え方を見直す機会となっているようです。これから日本、インドネシアお互いの文化交流を密に進めていってほしいと思います。

多様な人財が活躍できるチームづくりを

さわやか倶楽部には、産学官連携の共同研究や独自のノウハウ構築によって生まれた社内認定資格制度もあり、日本の一般的な介護技術だけでなく、さらに専門的な知識を得ることもできます。「口腔ケア認定士」や「ケアインストラクター」「ランク2アップ試験制度」などは、さわやか倶楽部社内の認定資格なので、経験年数や受験資格などの条件は必要なく、勉強して実技試験に受かれば取得することができます。インターンシップ生や技能実習生の皆さんにも、ぜひ挑戦して自己成長に繋げて欲しいと思っています。また、当社が運営する放課後等デイサービスへ通われていた生徒が、卒業後に介護職員として当社に入社するケースも多くなってきています。彼らにとっても、これらの資格を取得することで仕事に対する自信がつき、社会の役に立ちたいというモチベーションにつながっているようです。

ウチヤマグループには、毎年多くの人財が様々な経緯で入社してくれます。一人ひとりの社員との出会いが縁であり一期一会だと思っています。皆が同じ環境で育った訳ではなく、それぞれの生い立ち、考え方があることは当然ですが、企業という器の中に入ったら同じ理念を共有し、同じ目標に向かって前進してほしいと思いますし、その為にも企業という器の基盤を万全なものにしていくことが私の使命だと思っています。二〇一九年の新語・流行語大賞はラグビーワールドカップ日本代表のスローガンである「ONE TEAM」が選ばれました。ウチヤマグループも、企業という器の中に様々な人財が集まり、切磋琢磨しながら協力して結果を出す「ONE TEAM」でありたいと思っています。

ウチヤマグループ代表
内山 文治

社会貢献の輪を広げよう

チャイルドスポンサーシップの活動報告より

十一月十九日、ワールド・ビジョン・ジャパンの目黒部長と清海さんが来社されました。ワールド・ビジョン・ジャパンは、「チャイルドスポンサーシップ」というプログラムを通じて世界の子どもたちの支援を行う団体で、当社は十四年前から募金活動による支援を継続して行っています。本社やさわやか倶楽部の各施設では、海外の貧しい地域の子どもたちの里親となり、私たちの募金は、その子どもや家族の生活を支えるだけでなく、地域の環境を改善する為にも使われています。そうした活動状況について詳しく報告するため、毎年この時期に来社していただいています。

清海さんは今年の三月に、当社の「さわやかリバーサイド栗の木」が支援しているフィリピンのコレテ・ジェルウィン君とお母さんを訪問しました。そこで、当社が毎月発行しているこの「ウチヤマタイムズ」を持参し、当社の概要や近況、どんな想いでジェルウィン君を支援しているのかなどを伝えてくださったそうです。私たちが支援を継続することによって、ジェルウィン君は小学校に行くことができます。得意分野は「算数」で、学校内でもとても優秀だということです。

私たちの支援は、その他にも意外な変化をもたらしました。貧しい生活の中で自ら行動を起こすことがなかった家族や現地住民たちが、日本からの支援によって楽しそうに勉強する子どもたちの姿に感化され、大人の人たちも積極的に学ぶ姿勢が見られるようになりました。ジェルウィン君の母親も農業を学び、収入や食材を得て生活のレベルアップに努めているそうです。

ウチヤマグループでは、チャイルドスポンサーシップ以外にも、NPO法人テラ・ルネッサンスが手掛けるアフリカ・ウガンダでの元子ども兵社会復帰プロジェクトに対し、職業訓練施設での給食費の支援を行っています。また、地元の北九州市では、ホームレス支援のための炊き出しや、子ども食堂二カ所の運営など、様々な形で社会貢献活動に取り組んでいます。これらの取り組みは、人の目に直接触れることは少ないかもしれませんが、必ず誰かのお役に立っています。ただ会社が決めた取り組みだから協力するのではなく、皆さんの優しさが誰かのためになること、社会を温かく変える力になることが皆さん自身の喜びとなることを願って、これからも私たちにできることを継続していきたいと思います。

フィリピンのジェルウィン君

社会貢献のきっかけづくり

先日、アフガニスタンで人道支援活動を行っていた福岡市の国際NGO「ペシャワール会」の代表・中村哲さんが、現地で襲撃を受けて死亡するという残念な事件がありました。医師としての医療活動に加え、各地で井戸を掘って用水路を開拓するなど、現地で素晴らしい功績を残してきた中村さんの突然の死は、大変ショックな出来事でした。

世界的に貧しい地域では、今なお紛争が多く治安も安定していない中、それでもなお多くの方が自らの信念に従って社会貢献活動を行っています。私たちはそのような方々と行動を共にすることは困難でも、思いを共有することはできます。まさに大切なことは、かつてマザー・テレサが言われていた『私たちは大きなことはできません。小さなことを大きな愛を持って行うだけです』という言葉に込められていると思います。私が大好きなこの言葉をいつも胸に抱き、ウチヤマグループの仲間だけでなく、私たちに関わる多くの方々にとって社会貢献のきっかけを提供できるよう、これからも様々な機会を通じて呼びかけを行っていきます。皆さんも、自分にできることは何かを日々の生活の中で意識しながら、私たちが実際に行っている活動を多くの方に伝えて協力を呼びかけることで、社会貢献の輪を広げていきましょう。

2020 オススメ図書

さぁ、読んでみよう！今月の推薦本をご紹介！

1. 夏目漱石を読む（吉本 隆明）
2. 自助論（サミュエル・スマイルズ）
3. ザ・パワー（ロンダ・バーン）
4. 結果を出すリーダーはどこが違うのか（竹中 平蔵）
5. マッチ売りの女の子（H・C・アンデルセン 原作／角野 栄子 文／黒井 健 絵）

コロッケ倶楽部 広島五日市店

OPEN

11月25日、広島県広島市佐伯区にカラオケ部門の新店舗「コロッケ倶楽部広島五日市店」がオープンしました。広島県内では初めてのロードサイド型店舗で、コンビニのローソンとの共同出店となっています。オープニング記念としてルーム料金2時間無料のキャンペーンを行い、地元の方々も初日から多く来店されています。

KARAOKE コロッケクラブ [広島五日市店]

〒731-5155 広島県広島市佐伯区城山1-18-6

TEL.082-943-5678 年中無休

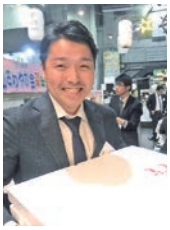
■全30BOX ■営業時間 10時～翌朝5時

稲垣店長よりごあいさつ

スタッフ一同、笑顔が絶えない明るい雰囲気の中、地元のお客様と仲良く会話をしながら、毎日楽しく営業しています。地域に愛される店づくりを目指して頑張ります。(店長・稲垣 旭(あきら))

内山さわやか会 望年会

2019年を締めくくる内山さわやか会の望年会が、今年も北九州市のアサノパティオで盛大に行われました。会員の方を中心とする取引先の方々やそのご家族など、約300名が参加されました。内山社長からはウチヤマグループの近況について報告が行われ、来賓の方々からもご挨拶をしていただきました。恒例のくじ引き大会では、豪華賞品の当選のたびに大きな歓声が上がりました。



こんにちは赤ちゃん

ご出産おめでとうございます！
元気いっぱい！おおきくなぁ～れ！！

押川 佳叶(けいと)くん

2019年11月1日生まれ

この度、無事に佳叶が産まれ大変嬉しく思います。

出産までの道のりは本当に難しく、命が育ったことは奇跡の連続であることを改めて感じました。このかけがえのない命を、夫婦共に力を合わせて大切に育てていきます。これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、日々精進してまいります。

パパ さわやか東神楽館 相談員・押川 正博

山口 玲也(れいや)くん

2019年11月25日生まれ

予定日より20日ほど早く、3096gの元気な男の子が産まれてきてくれました。かけがえのない大切な生命の誕生を嬉しく思います。初めてのことばかりで不安もありますが、周りから支えられていることに感謝しながら、夫婦とも子どもと一緒に成長していきたいと思います。

パパ さわやかいそうだ館 施設長・山口 一也
ママ さわやか春日館 生活相談員・山口 礼

根岸 怜央(れお)くん

2019年11月30日生まれ

妻の頑張りのおかげで、無事に生まれてきてくれました。この子が成人する頃には定年になりますが、それまで精一杯仕事を頑張っていきたいと思います。支えてくれた皆様に感謝です。

パパ さわやかなすしおばら館 施設長・根岸 一人

あなたのお悩み話してみませんか？

さわやか相談室

お気軽にどんなことでもご相談ください。
お電話、メールお待ちしております！

ひとりで悩まないで！

電話番号 090-9497-5764

メール sawayakasoudan@docomo.ne.jp